

2010年9月16日

**高齢者見守りサービス「シニアセキュリティ」顧客に対し、
外出先の“万が一”に備えた、緊急カードの無料提供を開始**

東急セキュリティ株式会社

東急セキュリティ株式会社(本社:東京都世田谷区、取締役社長:波戸 覺、以下 東急セキュリティ)が高齢者見守りサービス「シニアセキュリティ」の顧客に、「緊急カード」の無料提供を開始しました。

シニアセキュリティでは従来、自宅での急病や事故時の救急搬送に備え「救急医療情報ノート」を販売してまいりました。お客様がいざというときに緊急ペンダントを押せば警備員が駆けつけ、対応し、状況によって救急車出動要請等を行います。当社警備員は、お客様の既往症やかかりつけ医、診察券番号が記載された「救急医療情報ノート」の保管場所を把握しているため、救急隊員にいち早くノートを渡し、救急隊員もノートの情報を活用して迅速な処置を行うことができます。

実際にこの救急医療情報ノートがあったおかげで、かかりつけ医に搬送され病状が軽くすんだというお客様もあり、ご家族から「一人暮らしの母がかかりつけのお医者様に搬送されました。口もきけない状態だったらしいので、救急医療情報ノートのおかげですね」という感謝の言葉もいただいています。

また、「救急医療情報ノート」は専用ケースに入っているためカード類等の保管もでき、高齢者にとっては「目に見えるところに病院の診察券などがあり便利」というご利用のしかたも増え、現在ではほぼ100%の方がノートを購入されています。

この「救急医療情報ノートと同じようなものを外出先でも携帯したい」という声に応え、今回、「緊急カード」を作成し、無料提供することとしました。お財布に携帯できる「緊急カード」は外出先でも緊急連絡先やかかりつけ医情報を救急隊員に知らせることができるため、高齢者のお出かけをより安心なものとすることができます。

さらに、この「緊急カード」は東急セキュリティの会員証を兼ねているため、カードを提示することにより提携スーパーにて買い物をした商品を無料で配達するサービスを受けることができます。今後、東急セキュリティではカード提示による特典などさらなるサービス拡充を行っていく予定です。

社会的な背景から高齢者の安否確認や24時間緊急通報サービスへの需要はますます増えています。東急セキュリティではシニアセキュリティを通じて、高齢者の安心な暮らしを支えてまいります。

【緊急カード(二つ折り)】

裏面に氏名や緊急連絡先・かかりつけ医の情報等を記入できる



【明記・大正・昭和】		緊急連絡先(父) 氏名(フリガナ)	
年	月	日	生
姓	名	性別	連絡先
男	女	電話番号()	住所
かかりつけ医(父)		電話番号()	
住所		電話番号()	

【救急医療情報ノート】

緊急連絡先・かかりつけ医の情報等を記載。専用ケースに入れて保管。



【救急医療情報ノート(専用ケース)】

救急医療情報ノートを保管するケース。保管場所は管制センターにて記録している。



東急セキュリティ「シニアセキュリティ」サービス概要

【 サービス内容 】

緊急通報サービス

急な病気や怪我などの際にペンダントを軽く握るだけで東急セキュリティ管制センターに通報され、警備員が駆けつけます。状況に応じて応急手当や消防等への通報をします。

安否確認サービス

ご利用者様宅内に人感センサーを設置。一定時間、人の動きが感知出来なかった際は、自動で東急セキュリティ管制センターに通報され、警備員が駆けつけます。状況に応じて応急手当や消防等への通報をします。

健康相談サービス

医師や看護師、臨床心理士などが、24時間365日、フリーダイヤルにて無料の健康相談ができる「メディカルほっとライン」、ご利用者様の病症状に合わせた専門医を無料でご紹介する「医師紹介サービス」をご利用いただけます。

生活支援サービス

高所作業、植木の手入れなど日常のお困りごとから、高齢者施設への住み替えに関する相談受付など高齢者の生活をサポートします。

また、今年7月には、提携スーパーにてお買い物をした商品を無料で自宅まで配達するサービスを開始しました。

今後も顧客の要望に合わせて、随時サービスを拡充する予定です。



【 サービス料金 】

月額契約料金 : 4,515 円(税込)

設置工事費 : 42,000 円(税込)

「緊急カード」概要

- ・財布などに携帯できる大きさの2つ折りのカードに、緊急連絡先やかかりつけ医の情報等が記載できる。第三者が発見しやすいよう目立つデザインとなっている。
- ・東急セキュリティの会員証を兼ねており、カードを提示することにより提携スーパーにて買い物をした商品を無料で配達するサービスを受けることができる。



以上